



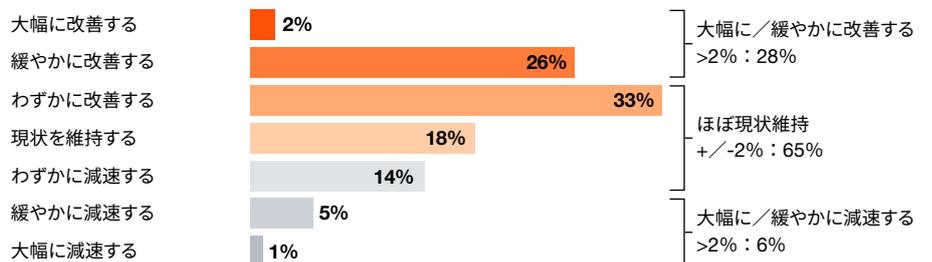
PwC「グローバル投資家意識調査2025」

レジリエンスファースト、絶え間ないイノベーション

AIや地政学的変化が世界経済を再形成する中、投資家はテクノロジーを通じて変革し、セクターの境界を越えて競争し、イノベーションに伴うリスクについての透明性を持って経営する企業を求めています。

投資家は2026年のマクロ経済の強い成長を期待していません。世界のGDP成長率が2%を上回ると予想しているのは3分の1未満です。

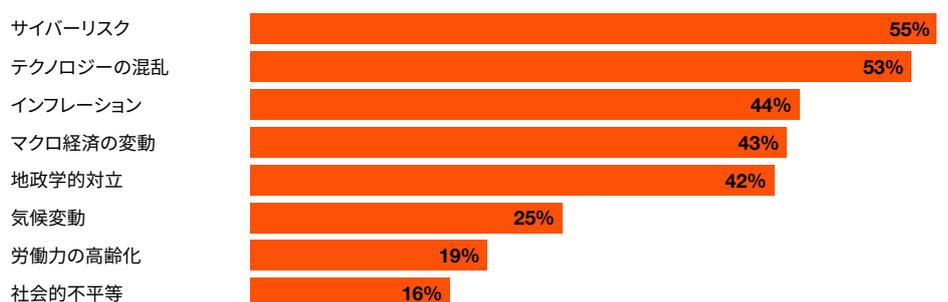
今後12カ月においてグローバルの経済成長が改善または減速すると考える回答者の割合



出所：PwC「グローバル投資家意識調査2025」

むしろ、企業はテクノロジーを通じて自らを再構築し、持続的で相互に関連するリスクからキャッシュフローを保護したいと考えています。

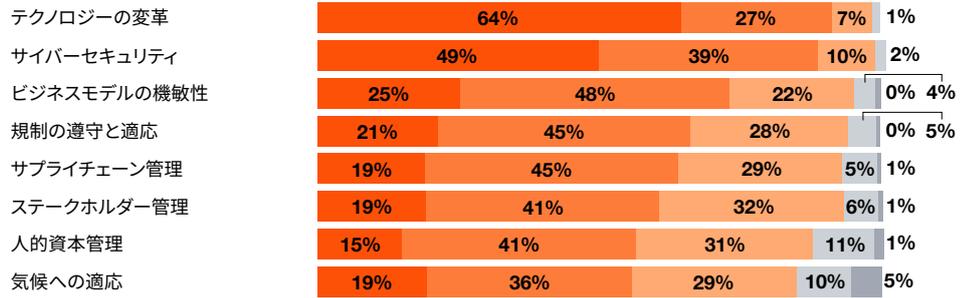
企業が今後12カ月の間に次のような脅威に非常にあるいは極めて強くさらされていると考える回答者の割合



出所：PwC「グローバル投資家意識調査2025」

投資家は、リスクにさらされることとイノベーションの機会との間には密接な関係があると考えています。サイバーおよびテクノロジーの混乱は、緩和すべき脅威にとどまりません。投資家はまた、経営層に対し、テクノロジーの変革とサイバーセキュリティの取り組み強化を求める一方で、ビジネスモデルの機敏性へのコミットメントを高めるよう求めています。

投資先またはカバーする企業が、以下の項目への資本配分を増加または減少させるべきと考える回答者の割合



■ 大幅に増加 ■ わずかに増加 ■ 現状を維持 ■ わずかに減少 ■ 大幅に減少

出所：PwC「グローバル投資家意識調査2025」

マクロ経済の不確実性が持続する可能性を考えると、信頼できるリスク軽減策と目に見えるイノベーションを組み合わせている企業は、投資家の信頼を得るのに最も有利な立場に立つでしょう。投資家からの要請は、「レジリエンスファースト、絶え間ないイノベーション」です。

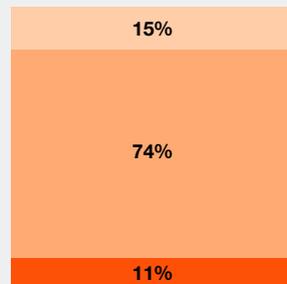


成長と再構築

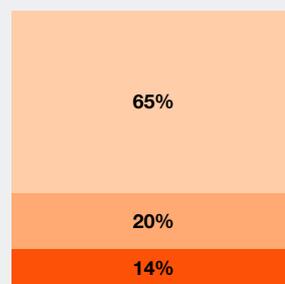
産業が収斂するにつれて、伝統的なセクターの境界を越えて競争することが重要な要素となります。投資家は、クロスセクターでの拡大やパートナーシップを通じたスケールアップを追求する企業を好み、単一セクターの企業と比べて、成長の可能性が高く、混乱のリスクが低いと見えています。

回答者に対して、深い専門知識と経験を持つ単一セクター（Focused）のビジネスモデルと、従来のセクターの境界を越えて拡大している企業（クロスセクター）を比較するシナリオを提示しました。

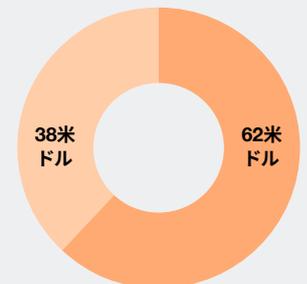
Q：どちらがより大きな成長可能性を持ちますか



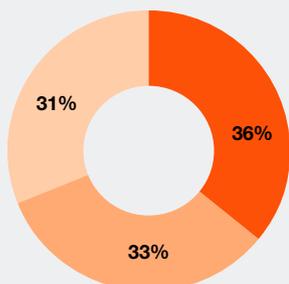
Q：競合他社の新規参入によって混乱する可能性が高いのはどちらですか



Q：100米ドルあった場合、それぞれの投資にいくら割り当てますか。



投資家は、経営者が時間の3分の1程度を現在のビジネスモデル維持のために費やすべきとし、残りの時間を新しい市場の拡張や新しい能力を生み出すことに費やすことを期待しています。



■ 現在のビジネスモデルを維持する
 ■ 新たな顧客や市場を拡張する
 ■ 混乱を把握したり考慮したりするために新しい能力やビジネスモデルを生み出す

■ 単一セクター ■ クロスセクター ■ どちらも同様

■ 単一セクター ■ クロスセクター ■ どちらも同様

■ 単一セクター ■ クロスセクター

出所：PwC「グローバル投資家意識調査2025」

73%

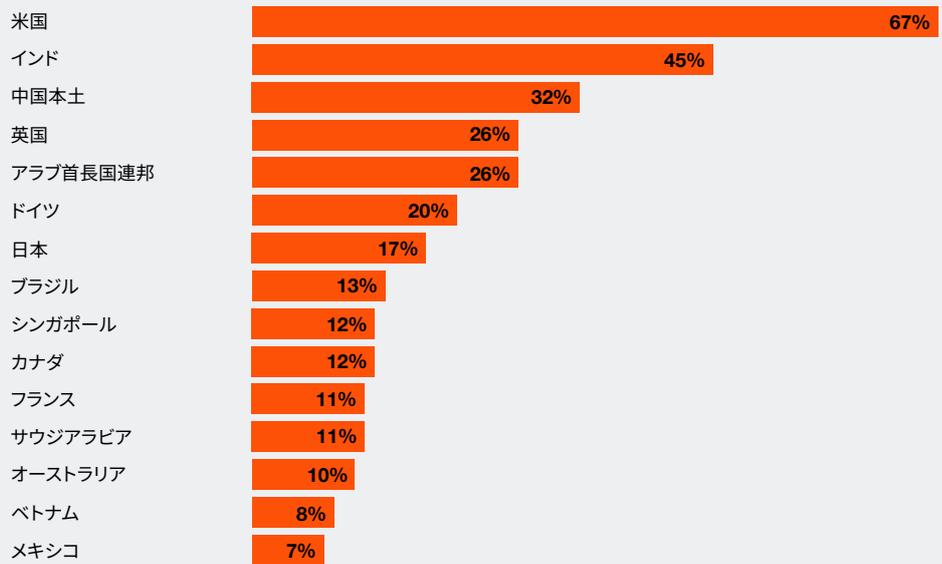
企業はビジネスモデルの機敏性に向けた資本配分を増やすべきだと考えています。

8/10

企業は、過去3年間と比較して、今後3年間で研究開発や設備投資への資本配分を増加させることを期待しています。

米国は主要な資本の配分先です。この資本の集中は、規模とイノベーションネットワークに対する信頼を裏付けるものです。一方で、特に急速に変化する政治情勢を踏まえると、過度な集中や過密化によるリスクを伴います。経営層は明確な対応策を講じる必要があります。

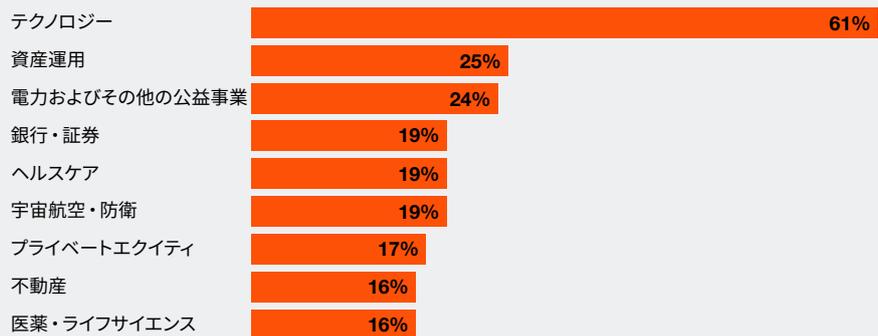
今後3年間に、最も多くの投資を呼び込むと考える国／地域についての回答者の割合（回答者は最大5つまで選択可能）



注：上位15位までの回答を示しています。
出所：PwC「グローバル投資家意識調査2025」

AIバブルの憶測にとらわれず、大多数の回答者は、今後3年間で最も多くの投資を呼び込む可能性が高いセクターとしてテクノロジーを挙げています。

今後3年間に、最も多くの投資を呼び込むと考える業界／セクターについての回答者の割合（回答者は3つまで選択可能）



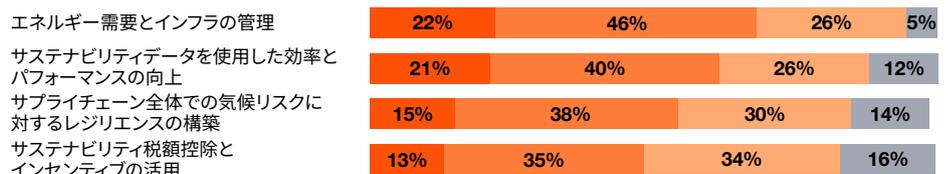
注：合計10%以上の回答を示しています。
出所：PwC「グローバル投資家意識調査2025」

サステナビリティと 気候リスク

エネルギー効率、気候のレジリエンス、インフラ投資に重点を置くことは、多くの投資家がサステナビリティを、レピュテーションに対する保険としてだけでなく、業務効率化と長期的な価値創造の推進力と見なしていることを示しています。

次のような行動をとっている企業への投資を増やすと考える回答者の割合

サステナビリティ、コンプライアンス、およびステークホルダー管理に対する投資家の注目点は、チェックボックスによる報告から、資本をどこに、どのように投資するかという意思決定へと変化し続けています。サステナビリティをコアビジネスモデルに組み込み、検証可能な指標によって裏付ける企業は、投資家に対し差別化できる可能性があります。



■ 大幅に増やす ■ ある程度増やす ■ わずかに増やす ■ 全く増やさない

出所：PwC「グローバル投資家意識調査2025」

84% 世界中の投資家の84%が、企業は自社の気候変動適合に対する投資を維持すべき、あるいは増やすべきと考えています。



AIとテクノロジーを活用した変化

多くの投資家は、AIを成長ストーリーの中心に位置づけています。投資家はAIが運用面および財務面で利益をもたらしていることを確認し始めており、企業がAIを全社的に拡大することを望んでいます。

テクノロジーは今後3年間で最も投資が見込まれる業界であり、次に人気の3つのセクターに比べて2〜3倍の関心を集めています。テクノロジーが急速に進化するなか、投資家は投資先の企業がそのスピードに追いつくことを望んでいます。

92%

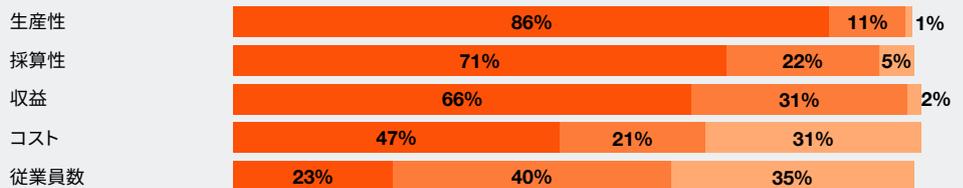
92%が、経営層に対し、投資先またはカバーする企業がテクノロジーの変革への資本配分を増やすよう求めています。

78%

78%の投資家は、全社的なAIトランスフォーメーションを追求する企業への投資を少なくとも緩やかに増加させると考えています。

これは、これまでのAIの影響に対する投資家の認識を考えると、驚くべきことではありません。特に生成AIから得られた利益は、投資先やカバーする企業を通じて多く報告されています。

過去12カ月において生成AIにより以下の項目が減少または増加したと考える回答者の割合

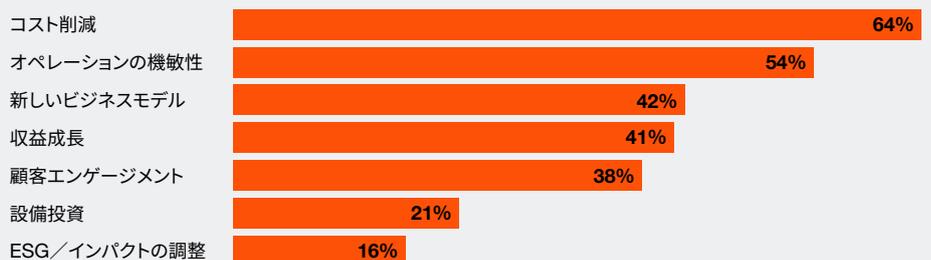


■ 増大 (純額で大幅に/ある程度/わずかに) ■ ほとんど変化なし ■ 減少 (純額で大幅に/ある程度/わずかに)

出所：PwC「グローバル投資家意識調査2025」

AIによる価値創出に対する投資家の期待は、具体的なものとなっています。

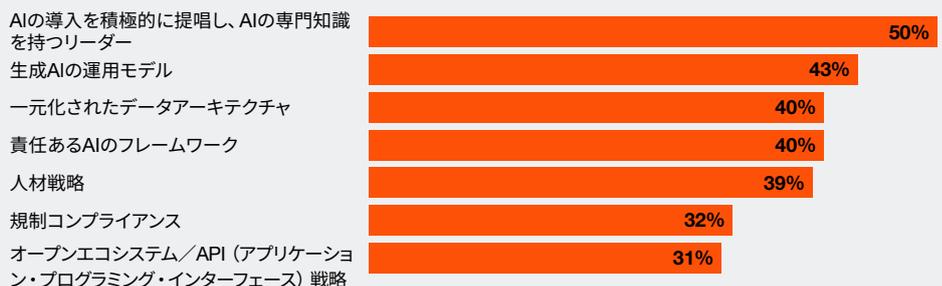
次の分野についてAIが最も株主価値を生み出すと考える回答者の割合



出所：PwC「グローバル投資家意識調査2025」

そして、AIの成功に欠かせないものとして、経営層の擁護とAIの理解を挙げています。強力なデータ品質、安全なアーキテクチャ、および規律的な変革管理に支えられる必要があります。

次の事項についてAIを成功させるために重要だと考える回答者の割合



出所：PwC「グローバル投資家意識調査2025」

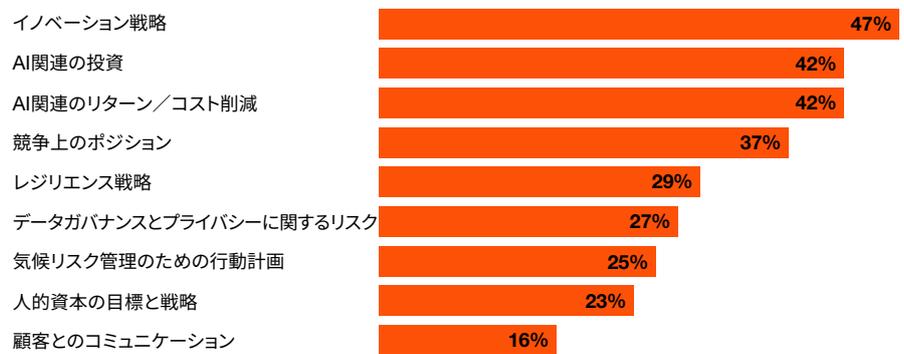


信頼を築くために、企業は変革とテクノロジーがどのようにコスト曲線と成長に影響するかについてオープンで誠実であるべきで、それらのプログラムの回復力を維持するための指針を開示すべきです。

信頼と透明性

投資家はより高い透明性を求めています。

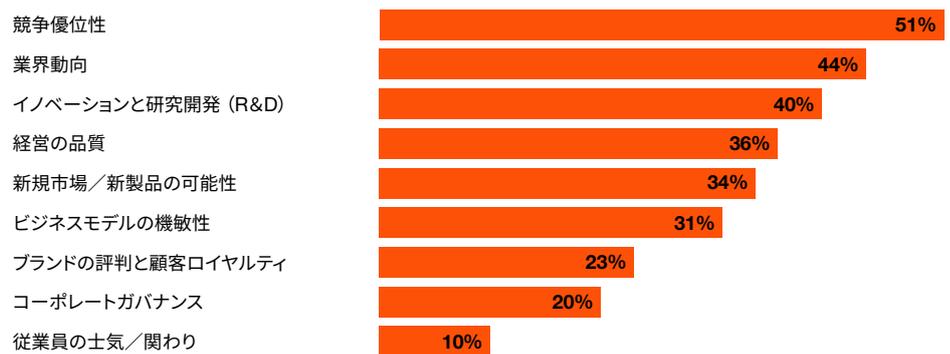
次の分野について回答者が企業により高い透明性を望む割合（回答者は3つまで選択可能）



出所：PwC「グローバル投資家意識調査2025」

多くの投資家は、すでに非財務データを評価モデルに組み込んでいると述べています。

以下の分野について評価モデルに組み込む可能性が高いとする回答者の割合（回答者は最大3つまで選択可能）



出所：PwC「グローバル投資家意識調査2025」

投資家は、企業が価値を創造し、特にAIのリスクをコントロールすることを望んでいます。しかし、ディスクロージャーのギャップが顕著です。

	企業がAI使用を評価する際に、これらのトピックが重要またはとても重要であるとする回答者の割合	企業がAIの利用に関する十分な情報を広い範囲で、あるいは完全に開示しているとする回答者の割合
AIを活用して企業がビジネスモデルをどのように改革しているか	87%	36%
AIがパフォーマンスに与える影響	85%	35%
企業のAI戦略、方針、および関連するリスク	84%	37%
報告された投資コスト	77%	33%
急速に変化するAI規制の影響	75%	28%
AIの使用または開発に関する企業の倫理ガイドラインまたはガバナンスの枠組み	72%	34%
AIが従業員数に与える影響	65%	23%
企業がAIをライセンス取得したのか、独自に開発したのか	56%	31%
AI投資の推定収益／ハードル率	8%	32%

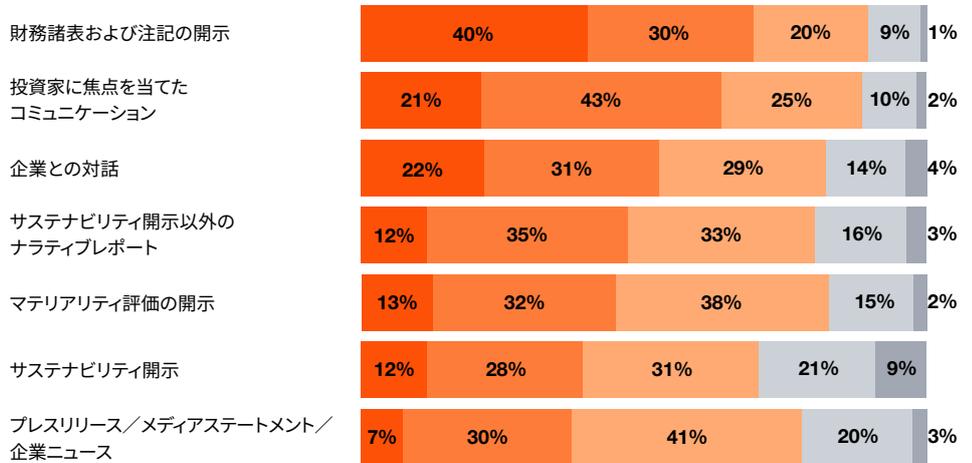
出所：PwC「グローバル投資家意識調査2025」

急速に進化するメガトレンドの中で、投資家は将来のパフォーマンスの兆候に強い関心を示しています。財務諸表と並んで有用な非財務指標を提供する企業は、投資家が野心と価値のギャップを埋めるのに役立ちます。また、透明性に最も満足している人々は、世界経済の成長を期待する傾向が強いことから、明白で前向きなコミュニケーションが信頼を築くだけでなく、心証を形作ることを確認できます。

情報過多の時代においても、投資家の信頼のスタート地点は明確です。財務諸表と投資家重視のコミュニケーションは、意思決定の基盤であり続けます。

企業がリスクや機会をどのように管理しているかを評価する際に、以下の情報源を利用する回答者の割合

情報源—会社発表



■ 極めて大きな範囲で利用 ■ 相当な範囲で利用 ■ ある程度利用 ■ 限られた範囲で利用 ■ 全く利用していない

出所：PwC「グローバル投資家意識調査2025」

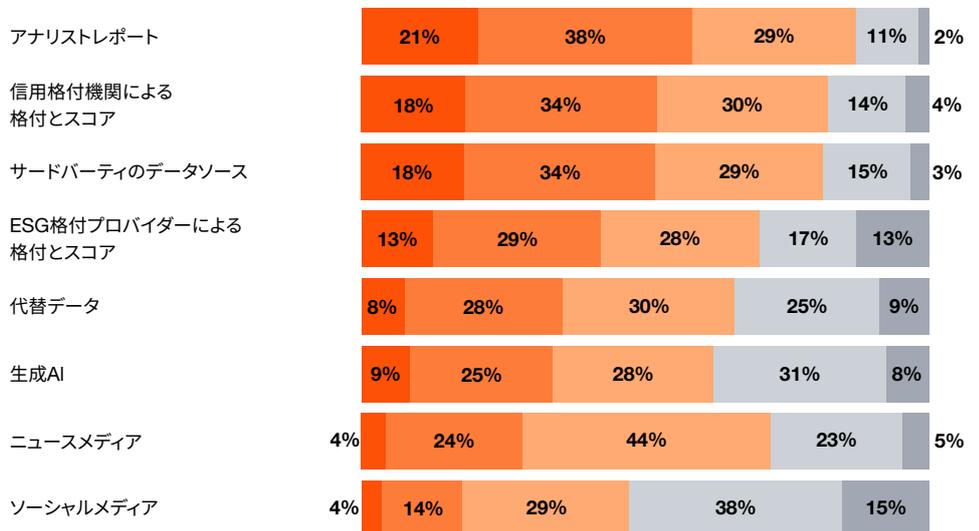
サステナビリティリポーティングの注目点：

リスクと機会を評価する上で、マテリアリティ評価（45%）とサステナビリティ開示（39%）に大きく依存していると答えた回答者は4割にすぎませんが、78%が、この情報を提供することが投資家の関与に極めてあるいはある程度影響を与えていると考えています。

伝統的な情報源は依然として重要です。多くの投資家はアナリストレポートや信用格付、あるいは他の第三者データを利用しており、生成AIや代替データは選択的に利用されています。このメッセージは反イノベーションではなく、信憑性です。投資家は、検証可能な数値、理解可能なガバナンス、そして戦略とキャッシュフローを結びつけるストーリーを望んでいます。

企業がリスクと機会をどのように管理しているかを評価する際に、以下の情報源を利用する回答者の割合。

情報源—第三者発行



■ 極めて大きな範囲で利用 ■ 相当な範囲で利用 ■ ある程度利用 ■ 限られた範囲で利用 ■ 全く利用していない

出所：PwC「グローバル投資家意識調査2025」

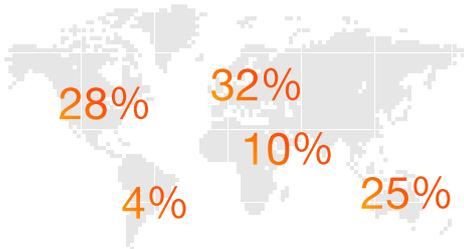
PwCのグローバル投資家意識調査は、2026年のイノベーション主導の投資テーマを示唆しています。資本はテクノロジー、全社的なAI活用、ビジネスモデルの機敏性に流れており、クロスセクターの拡大とパートナーシップに強力な支持が集まっています。同時に、投資家は、AIとサステナビリティのための明確な指標、強固なガバナンス、レジリエンスのための透明性のある戦略といった、彼らの意思決定の根拠を求めています。野心を測定可能な結果に変え、イノベーションがキャッシュフロー、競争力、リスクとどのように結びついているかを伝える企業は、投資家の信頼を獲得し、変化する世界での成長を獲得するために最も有利な位置に立つことができます。

調査方法

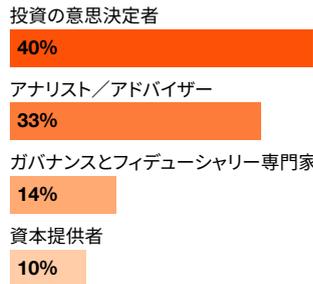
2025年9月1日から10月6日までの期間に実施された調査には、投資会社、銀行、プライベートエクイティ、ベンチャー・キャピタル・グループ、ヘッジファンド、年金基金、ソブリン・ウェルス・ファンド、その他の金融機関から抽出された、26の国と地域にわたる1,074人の投資専門家の見解が反映されています。オンライン調査の回答者は、さまざまな業界、職種、専門家にわたっており、運用資産残高（AUM）の中央値は総額750億米ドル、年間収益は1億米ドルから100億米ドルに集中しています。

オンラインリサーチは、私たちの主要なリサーチおよびエビデンスに基づくコンサルティングサービスのグローバル・センターオブエクセレンスであるPwC Researchによって行われました。

本拠地はどこですか。



あなたの職種は何ですか？



どのような資産クラスに焦点を当てていますか。



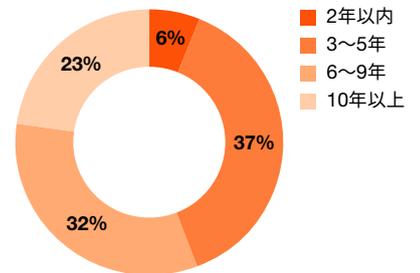
どこに投資しますか（上位5カ国）。



どのような業界に投資していますか。



計画している投資期間



注:四捨五入の関係上、また「わからない」とする回答を除いているため、本書全体を通じて%が合計の数値/100と一致しないことがあります。

お問い合わせ先

PwC Japanグループ

www.pwc.com/jp/ja/contact.html



www.pwc.com/jp

PwC Japanグループは、日本におけるPwCグローバルネットワークのメンバーファームおよびそれらの関連会社（PwC Japan有限責任監査法人、PwCコンサルティング合同会社、PwCアドバイザリー合同会社、PwC税理士法人、PwC弁護士法人を含む）の総称です。各法人は独立した別法人として事業を行っています。複雑化・多様化する企業の経営課題に対し、PwC Japanグループでは、監査およびブローダーアシュアランスサービス、コンサルティング、ディールアドバイザリー、税務、そして法務における卓越した専門性を結集し、それらを有機的に協働させる体制を整えています。また、公認会計士、税理士、弁護士、その他専門スタッフ約13,500人を擁するプロフェッショナル・サービス・ネットワークとして、クライアントニーズに的確に対応したサービスの提供に努めています。PwCは、クライアントが複雑性を競争優位性へと転換できるよう、信頼の構築と変革を支援します。私たちは、テクノロジーを駆使し、人材を重視したネットワークとして、世界137の国と地域に364,000人以上のスタッフを擁しています。監査・保証、税務・法務、アドバイザリーサービスなど、多岐にわたる分野で、クライアントが変革の推進力を生み出し、加速し、維持できるよう支援します。

本報告書は、PwCメンバーファームが2025年12月に発行した『PwC's Global Investor Survey 2025』を翻訳したものです。翻訳には正確を期しておりますが、英語版と解釈の相違がある場合は、英語版に依拠してください。オリジナル（英語版）はこちらからダウンロードできます。

<https://www.pwc.com/gx/en/issues/c-suite-insights/global-investor-survey.html>

日本語版発刊年月：2026年2月 管理番号：I202507-05

© 2026 PwC. All rights reserved. PwC refers to the PwC network and/or one or more of its member firms, each of which is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details. This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.